

広島県感染症発生動向週報

[広島県感染症予防研究調査会]

1 五類定点疾患週報情報

平成23年第34週(8月22日～8月28日)

No.	疾患名	週間報告数	定点当り	過去5年平均※1	発生記号	No.	疾患名	週間報告数	定点当り	過去5年平均※1	発生記号
1	インフルエンザ ※2	0	0.00	0.20		10	百日咳	9	0.13	0.06	
2	RSウイルス感染症	20	0.28	0.08		11	ヘルパンギーナ	87	1.23	1.10	
3	咽頭結膜熱	37	0.52	0.80		12	流行性耳下腺炎	51	0.72	0.59	
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	46	0.65	0.49		13	急性出血性結膜炎	0	0.00	0.00	
5	感染性胃腸炎	199	2.80	3.35		14	流行性角結膜炎	23	1.21	1.55	
6	水痘	30	0.42	0.59		15	細菌性髄膜炎	2	0.10	0.01	
7	手足口病	280	3.94	0.49		16	無菌性髄膜炎	2	0.10	0.04	
8	伝染性紅斑	24	0.34	0.14		17	マイコプラズマ肺炎	8	0.38	0.21	
9	突発性発しん	43	0.61	0.79		18	クラミジア肺炎 ※3	0	0.00	0.00	

※1 過去5年間の同時期平均(定点当り)
 ※2 鳥インフルエンザを除く。
 ※3 オウム病を除く。

第33週が、お盆期間中で、定点医療機関の休診によって報告数が少なくなっている可能性があり、正確な比較ができないことから、第34週は発生記号の表示はしていません。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	基幹
疾患No.	1	1～12	13, 14	15～18
定点数	43	71	19	21

発生記号(前週と比較)

急増減			1 : 2 以上の増減
増減			1 : 1.5 ~ 2 の増減
微増減			1 : 1.1 ~ 1.5 の増減
横ばい			ほとんど増減なし

【警報・注意報発令状況】

対象疾患名	警報開始基準	警報継続基準	注意報開始基準	県内の発令状況	保健所別の流行状況 (定点当たり)						
					西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
				現在、警報・注意報を発令している疾患はありません。							

- 広島県では、これまでインフルエンザのみ警報・注意報の発令を行ってきましたが、平成23年7月25日から「感染症発生動向調査警報・注意報発令要領」を定め、その他の疾患についても、警報・注意報の発令を行うこととしました。
 詳しくはこちらをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/page/1311734073186/index.html>
- なお、手足口病については、要領を制定する前に警報開始基準に達していたため、警報の発令はしていませんが、現在も流行が続いているものと考えられるため、ご注意ください。
 詳しくはこちらをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/page/1309335223704/index.html>

【急増減疾患(前週比2倍以上増減)】

- 急増減疾患 なし

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

!! → 要注意疾患

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし								
二類	6	結核	6	1				3		2
三類	7	細菌性赤痢	2					1		1
		腸管出血性大腸菌感染症 !!	5			2		2		1
四類	0	発生なし								
五類全数	0	発生なし								

注) 西部…大竹市、廿日市市、安芸高田市、安芸郡、山県郡、江田島市
 東部…三原市、尾道市、世羅郡、府中市、神石郡

西部東…竹原市、東広島市、豊田郡
 北部…三次市、庄原市

- 詳しい流行状況は、広島県感染症情報センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/hec/hidsc/index.html>